

## ◆◆◆エルニーニョ監視速報（2007年5月）～ラニーニャ現象発生～

6月11日（月）、気象庁は、エルニーニョ監視速報で、現在ラニーニャ現象が発生しているとみられ、秋まで続く可能性が高いと発表しました。

気象庁では、南米ペルー沖のエルニーニョ監視海域の海面水温の基準値との差の5か月移動平均値が6か月以上続けて $+0.5^{\circ}\text{C}$ 以上となった場合をエルニーニョ現象、 $-0.5^{\circ}\text{C}$ 以下となった場合をラニーニャ現象としています。

ラニーニャ現象発生時の日本の天候の特徴として、夏（6～8月）では、気温は東・西日本で「平年並～高い」傾向があり、降水量は東・西日本太平洋側と南西諸島で「平年並～多い」傾向があるとされています。

詳細は、気象庁ホームページ（<http://www.jma.go.jp>）上の気象統計情報、地球環境・気候のエルニーニョ/ラニーニャ現象のページをご覧ください。